

ヒトパピローマウイルス（子宮頸がん） 予防接種について

子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）は、接種後に出現する副反応等により、平成25年6月以降、定期接種の積極的なご案内をしないように勧告がありましたが、令和3年11月にHPVワクチンの安全性について、特段の懸念が認められないことや接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回ることが確認されました。

そのため、積極的勧奨を差し控えている状態を終了させることが妥当であると判断され、対象者への個別通知による勧奨を再開することとなりました。積極的勧奨を差し控えていた期間に接種機会を逃した平成9年4月2日～平成18年4月1日生まれの方について、令和6年度までの期間、キャッチアップ接種として実施しておりました。

しかし、今夏以降の大幅な需要増により、HPVワクチンの接種を希望しても受けられなかった方がいらっしゃる状況等を踏まえ、下記の条件にあてはまる対象者のみ、指定期間中に全3回の接種を公費で完了できるようになりました。

接種対象者・接種可能期間

■ 接種対象者の条件

- ① キャッチアップ接種対象者（H9.4/2～H18.4/1）のうち、
2022年4月1日～2025年3月31日までにHPVワクチンを1回以上接種した方
- ② 2008（平成20）年度生まれの女子で、2022年4月1日～2025年3月31日
までにHPVワクチンを1回以上接種した方

■ 接種可能期間

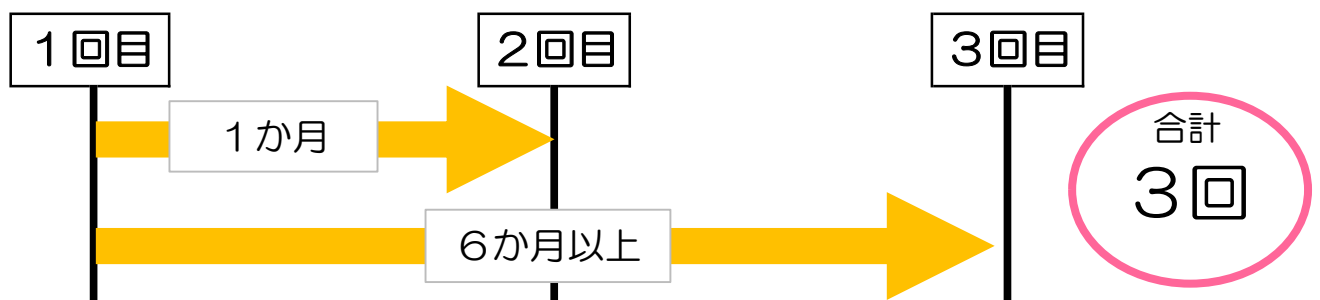
- ・ 2026年3月31日まで ※上記期間に残りの接種を完了してください。

接種方法

- ・ 1回目または2回目に接種したワクチンを間隔をあけて筋肉注射します。
合計3回の接種で完了となります。

接種間隔

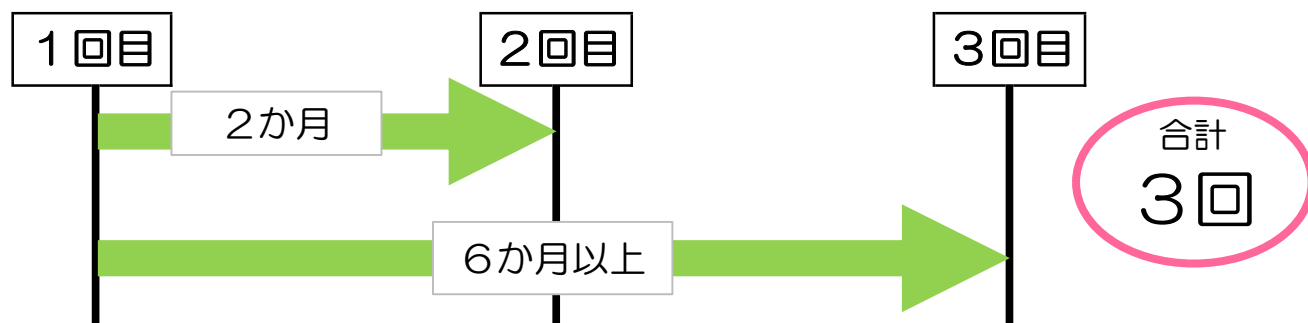
★サーバリックス（2価）★



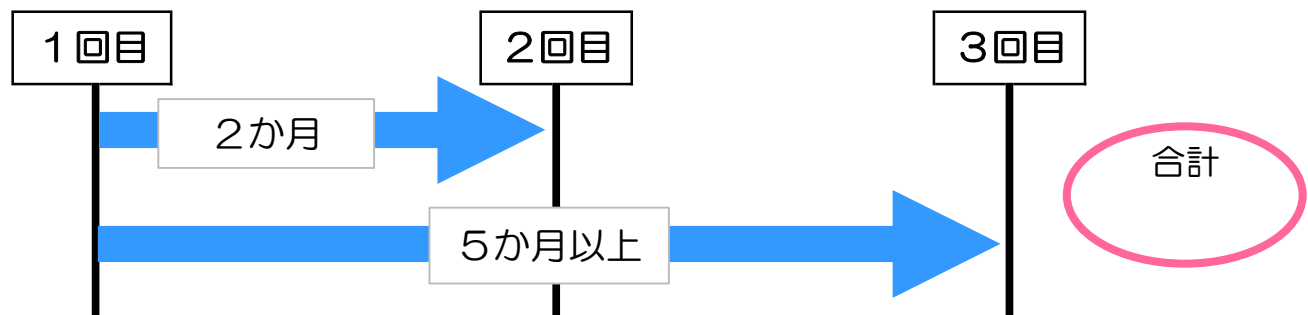
裏面もご覧ください

接種間隔（続）

★ガータシル（4価）★



★シルガード（9価）★



※3種類いずれも、1回目接種後から1年以内に接種を終えることが望ましいです。

※これまでに、2価または4価のHPVワクチン（サーバリックスまたはガーダシル）を原則として同じ種類のワクチンを接種することをお勧めしますが、医師と相談のうえ、途中から9価ワクチンに変更し、残りの接種を完了することも可能です。

接種会場

県内の協力医療機関で接種ができます。医療機関へ事前にご予約ください。

～近隣の協力医療機関～

- ◎ 北秋田市 ： 北秋田市民病院 奈良医院 米内沢診療所
- ◎ 五城目町 ： 千葉内科

費用

- ・2026年3月31日まで接種した場合、**無料**

接種に必要なもの

- ①予診票（接種を希望される方は、ご連絡ください。）
- ②母子健康手帳

～ 問い合わせ先 ： 上小阿仁村 住民福祉課 健康推進班 （保健師） ～

電話：77-3008 こあに電話：66-3009

